

社協は福祉教育を応援★

# 福祉教育 (共育)

児童生徒は身近な人とのふれあいを深め、幅広い体験活動を通して、自分のことも周りのことも大切にする福祉のこころを学んでいます。

今回は、本宮まゆみ小学校・本宮小学校の授業の様子を報告します。



## 本宮まゆみ小学校5学年 52名

(実施日:11/1、11/25、12/9)

▼ポッチャに挑戦!



### ユニバーサルスポーツ体験

\*講師:福島県障がい者スポーツ指導者協議会



▲校舎内のスロープ  
後ろ向きで慎重に…

### 車いす・ ハンドバイク体験

\*講師:安斎透さん

▼スピードに乗って♪



11月は障がいに対する理解を深めるため、車いす・ハンドバイク体験を行いました。また、高齢になっても障がいがあっても誰でも楽しめるユニバーサルスポーツにも触れ、さまざまな人が一緒に生活する社会を考えるきっかけとなりました。

## 本宮小学校3学年 61名

(実施日:11/4、11/19)

▶障がい者マークについても学んだよ



Q.このマーク知ってるかな?



### A.「耳マーク」

聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表しています。



認知症の『キッズサポーターカード』をもらったよ!



NPO法人アイ・キャンのみなさんによる障がい理解の授業、社会福祉法人安積福祉会・白沢地域包括支援センターによる認知症サポーター養成講座を受講し、自分たちの周りにはいろいろな立場の人がいることを知り、思いやりのこころを学びました。